



# 埋文だより

第24号

平成12年11月30日発行

## 「上野原縄文フェスタ2000」開催



「縄文体験コーナー」の様子（国分シビックセンターにて）

10月16日から22日にかけて、国分市の国分シビックセンターと上野原遺跡で、「上野原縄文フェスタ2000」が開催されました。

「子ども縄文の村生活体験隊」（上野原遺跡）と「縄文体験コーナー」（上野原遺跡・シビックセンター）にも大勢の人が訪れ、たいへんにぎわいました。

火おこしの体験では、老若男女を問わずチャレンジしていましたが、なかなか火が点かず悪戦苦闘している様子が見学者の笑いを誘っていたようです。

### 目次

頁

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| ・ 上野原縄文フェスタ2000           | …1 |
| ・ 発掘遺跡紹介                  |    |
| 高井田遺跡                     | …2 |
| 小中原遺跡                     | …2 |
| 高篠遺跡                      | …3 |
| ・ 埋蔵文化財センター紹介<br>（ホームページ） | …4 |
| ・ 出前考古学教室                 | …6 |

鹿児島県立埋蔵文化財センターの見学は、  
日曜日・祝日・年末年始を除き、毎日午前9時～午後5時まで。  
入館料は無料です。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

## 県内遺跡の紹介

### 曲水の宴!? それとも…

#### 高井田遺跡 《始良郡加治木町》

高井田遺跡は標高約10mの微高地上にある遺跡で、国道10号加治木バイパスの建設に伴って調査が行われました。

遺跡の南側には、町内で最も古いと伝えられる春日神社（1006年創建）があることや、近くに江戸時代のある時期まで真福寺があったとされていることなどから、寺社に関係のある遺構・遺物が発見されるのではと期待されました。

調査の結果、平安時代のもと考えられる掘立柱建物跡3棟・礫敷溝状遺構・焼土坑1基などの遺構と須恵器・土師器などの遺物が発見されました。なかでも礫敷溝状遺構は拳大のものを中心に大小の円礫を組み合わせで敷いたもので、長さ約25m、幅1～2mにわたって検出されました。形がやや弓なりになっていることや幅の広い部分が2か所あることなどから、もしや平安時代の詠遊び「曲水の宴」の跡では？と夢が膨らみます。

お寺そのものの跡は確認できませんでしたが、17世紀後半の人物である新納仲右衛門：藤原時淳（加治木島津家の家老）銘の墓石が出土したことから、やはり付近にお寺が存在した可能性が高くなったと言えるでしょう。



春日神社



墓石（拓本）



礫敷溝状遺構

### 隼人と大和の人々は仲良かった？

#### 農業開発総合センター遺跡群 《日置郡金峰町》

農業センター遺跡群は、日置郡吹上町と金峰町の境にある標高50mの通称大野原台地に広がる遺跡群です。この遺跡群の1つである小中原遺跡から、5世紀半ばに近畿地方で作られた「初期須恵器」と呼ばれる焼き物が、地元の土器である「成川式土器」とともに破棄された状態で出土しました。この「初期須恵器」はおもに畿内地方に流通し、他の地方にはわずしかか流通していない焼き物です。薩摩半島南部は「隼人」と呼ばれた人々の祖先が暮らしていたと思われる地域のひとつであり、ここで「初期須恵器」が出土したことは、この地に暮らした人々が、大和朝廷による日本列島支配という世の中の動きにどう対応したかを探る重要な手がかりとなります。



初期須恵器の出土状態



手前の青色の焼き物が「初期須恵器」

## 平安時代の工場発見!?

高篠遺跡 《曾於郡財部町南俣》



石帯



底の部分に「舎」と書かれた土師器

高篠遺跡では、古代（9世紀～10世紀）の掘立柱建物跡11棟が発見されました。そのうち9棟には屋内に炉があり、ふいごの羽口（炉に風を送るための土で作った筒）や、鉄製品を作るときに出る鉄くずも数多く出土しているため、鍛冶工房（鉄を加工して製品を作るところ）があったものと思われます。

特徴的な遺物としては、「大」・「舎」の文字を土師器に墨で書いた「墨書土器」や、焼塩壺（焼塩を作ってつめた土器）が見つかっています。さらに、県内でまだ数点しか発見されていない石帯（役人などがつけていた革ベルトにつける飾り：3.2cm×3.3cm×0.6cm）も出土しました。

これらのことから、高篠遺跡は、役人がいた所（役所）であった可能性があります。

### 紹介した遺跡の位置



# 埋蔵文化財センターホームページ リニューアルオープン!

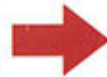
鹿児島県立埋蔵文化財センターのホームページが鹿児島県内の遺跡紹介などのコンテンツ拡充にともない12月にリニューアルオープン予定です。

### アクセス方法

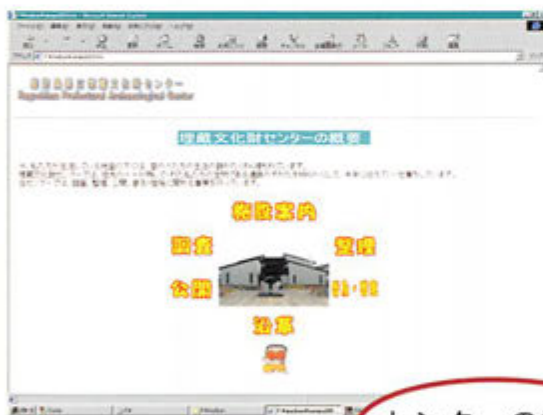
鹿児島県教育委員会のホームからリンクをたどる方法とWWWブラウザ画面でURLを入力する方法などがあります。

### リンクのたどり方(例)

インターネット上の検索エンジン等で鹿児島県教育委員会を検索し、文化財課のページからお入りください。



埋蔵文化財センター  
トップページ



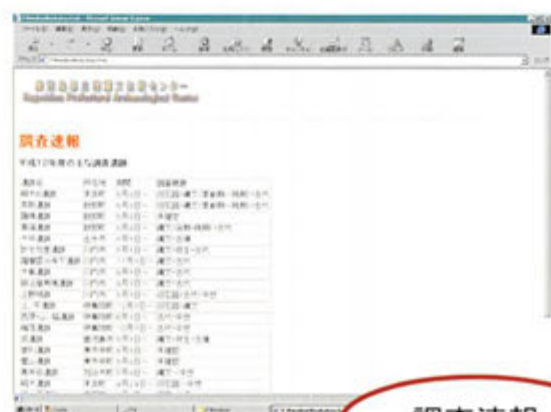
センターの概要

### 主なコンテンツ

- センターの概要
- 展示案内
- 調査速報
- 上野原遺跡の紹介
- 縄文キッズ
- 鹿児島の主な遺跡
- トピックス



展示案内



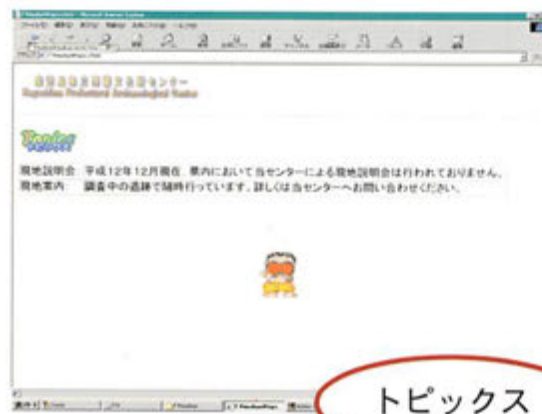
調査速報

ホームページアドレス

<http://chukakunet.pref.kagoshima.jp/home/bunkazaika/maibun/maibunsenter.html>

E-mail

[maibun@po.pref.kagoshima.jp](mailto:maibun@po.pref.kagoshima.jp)



埋蔵文化財に関する内容を  
中心に、今後も多くの情報を  
掲載していく予定です。  
アクセスをお待ちしていま  
す。

## 「タイムトリップ授業 —出前考古学教室」実施中

県内の小中高生・PTAを対象に、県立埋蔵文化財センター職員が、土器・石器の実物やスライド等を持って各学校へ直接出向き、授業やPTA活動などを通して、埋蔵文化財や縄文時代についての興味や関心を高め理解を深めてもらう活動を実施



しています。11月現在で小中高校合わせて11校で実施されました。児童・生徒および先生から寄せら

れた感想の一部を紹介いたします。

「せっきがすごくとがっていて、きったらいたそうだった。」



(三島村立大里小2年)

「最初は石器を本物かなあと考えていたけど、

本物と聞いてびっくりしました。」  
(三島村立大里小6年)



「土器が僕の思っているような形にならなくて、おわんみたいになってしまった。」

(国分市立木原中2年)  
「僕たちのグループは、全然火がおこらないから炭をもらってつけた。今度は絶対自分たちの手でつけるぞと思った。」

(額娃町立九玉小5年)  
「子供たちも、担任の私たちもとても楽しく活動できました。6時間で計画していたので十分と思っていたのですが、やや時間不足だったように感じました。思い切って2日かけたり、学校外の野外などでできたら一層楽しくできそうだな、など思いを膨らませることでした。」  
(6年担任)

## 長期研修講座終了

当埋蔵文化財センターでは、埋蔵文化財の専門職員を目指す市町村職員を対象に、調査・研究の方法や技術を修得するための研修講座を開講しています。毎年県内各地から受講生が集まり、今年度は5名の職員が5月から11月まで受講しました。

\* 本年度受講生

額娃町教育委員会	朝 限 兼 典
財部町教育委員会	梅 木 康
大口市教育委員会	柿 川 幸 司
東郷町教育委員会	萩原潤一郎
輝北町教育委員会	前 田 和 信

埋文だより 第24号

発行日：平成12年11月30日

編集・発行

鹿児島県立埋蔵文化財センター  
〒899-5652

鹿児島県始良郡始良町平松6252

TEL 0995-65-8787

FAX 0995-65-8117

E-mail : maibun@po.pref.kagoshima.jp

URL : <http://chukakunet.pref.kagoshima.jp/home/bunkazaika/maibun/maibunsenter.html>